

公共哲学1（担当：玉手慎太郎）

試験問題

◆以下の各問いについて、選択肢から一つ選んで解答してください。（1問5点）

(1) ラクラウ&ムフが論じる「ヘゲモニー闘争」の意味として適切なものはどれか。

1. 政治改革を通じて、既得権益に絡め取られた政治対立を乗り越える新しい政党政治を確立しようとする闘争
2. 軍事行動を通じて、世界秩序に大きな影響力を行使する新たな覇権を獲得しようとする闘争
3. 社会運動を通じて、資本主義経済のあり方を刷新する新たな経済レジームを生み出そうとする闘争
4. 言説行為を通じて、それまで顕在化していなかった権力関係に異議申し立てを行う新たな連帯関係を構築しようとする闘争

(2) アイデンティティについてのムフの見解として適切なものはどれか。

1. アイデンティティは生まれた時に（国籍・性別などの形で）すでに与えられており、生涯を通じて不変である。
2. アイデンティティは自己認識に関わるものであり、他人の存在とは独立に規定される。
3. アイデンティティは他者と共有するものであり、「われわれ」を規定すると同時にそこから排除される「彼ら」をも規定する。
4. 右派ポピュリズムは無個性な大衆を肯定し、支持者のアイデンティティを希薄化するがゆえに危険なものである。

(3) ポピュリズムについてのラクラウの見解として適切でないものはどれか。

1. ポピュリズムとは、特定の人物がヘゲモニー闘争を通じて非常に広い支持を得るという政治的出来事である。
2. ポピュリズムは政治的言説を通じて人々の連帯を生み出しているのであり、民主主義の本来のあり方に沿ったものである。
3. ポピュリズムは民主主義を不安定化させるが、その偶発性を否定することは民主主義の可能性を否定することになる。
4. 右派ポピュリズムの危険性に対抗するために、左派ポピュリズムの可能性を模索していく必要がある。

(4) ラクラウとムフの共著の邦訳タイトルとして適切なものはどれか

1. 『民主主義の革命』
2. 『政治的なものについて』
3. 『現代革命の新たな考察』
4. 『左派ポピュリズムのために』

◆以下の各問いについて、選択肢から適切なものをすべて選んで解答してください。（1問10点・部分点なし）

(5) 個人の良心と政治的な責任の関係についてのアレントの見解として適切なものはどれか。

1. 自分の良心を働かせることなしに政治的な責任を果たすことは不可能である。
2. 自分の良心を働かせることなしに政治的な責任を果たすことが全体主義を支えることにつながる。
3. 自分の良心を働かせるということは政治的な責任のうち最重要の要素である。
4. 自分の良心に基づいて政治的な責任を拒否することは困難だが不可能ではない。

(6) メディアの役割についてのハーバースの見解として適切なものはどれか。

1. メディアを通じて議会や法廷は自らの決定を発信し、市民に対しての説明責任を果たす。
2. メディアを通じて市民は公論を発信し、議会や法廷に対して異議申し立てを行う。
3. 協議の政治が適切になされるためには、メディアは中立的でなければならない。
4. グローバルなメディアの存在がグローバル公共圏の形成には不可欠である。

(7) 社会主義についてのマルクスの見解として適切なものはどれか。

1. 人々が本当の意味で平等に尊重されるためには、階級対立が廃棄されなければならない。
2. 社会主義は、資本主義的な搾取がなかった時代のキリスト教的な自治共同体（アソシエーション）をモデルにすべきである。
3. 生産手段の国有化は社会主義にとって必要不可欠である。
4. 社会主義にとって最も重要なことは人間の疎外を克服することである。

(8) 民主主義についてのラクラウ&ムフの見解として適切なものはどれか。

1. 民主主義の目標は、一才の制約なき自由な話し合いの末の、平等な市民からなる合意でなければならない。
2. さまざまな新しい左派運動が登場してきているが、現代の民主主義はあくまで階級闘争によって規定されている。
3. ヘゲモニー闘争を通じてあらゆる権力関係は問い直されうるものであり、ナショナリズムや排外主義はいずれ必ず乗り越えられる。
4. ポピュリズムは人々の意見をまとめ上げて政治につなげるという民主主義の本質に沿ったものであり、非合理的でも不当でもない。

解説

期末テストはオンラインで実施した。選択式の設定問を通じて、授業内容の理解度を確認した。選択式という簡単なものと捉えられがちだが、それは必ずしも適切な認識ではない。特に後半の四問のように、適切なものを複数選び解答するタイプの問題においては、安易な消去法で正解を導くことはできず、正確な理解が必須となる。全問正解（60点）は11名であった。

正答は順番に4、3、4、1、2&4、1&2&3&4、1&4、4となる。

先に40点満点（同様に選択式で5点×8問）の中間テストを実施しており、そちらの点数との合計点をそのまま最終成績とした。

以上